

(別紙4(2))

事業所名 グループホームジョイア矢作

目標達成計画

作成日: 平成31年1月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の方との交流を始め、多くのレクリエーション、交流を行っているが、なかなか参加できないご利用者様もいる。	交流、レクリエーションにてより多くの方が参加できるようなものを企画、実施する。	月1でのジョイア矢作でのホーム内イベントの計画。可能であれば、ご近所の方にも声をかけ、参加をお願いする。	12ヶ月
2	2	地域の方との交流を継続する。	地域の方との交流が昨年本格的になってきた。今年も、交流を継続的に行えるようにする。	各種イベントでの地域への声掛け。また、地域イベントにジョイア矢作も参加をさせて頂く。	12ヶ月
3	23	ご利用者様一人一人の個別ケアをより進めていく。	ご利用者様一人一人がその人らしく過ごすことが出来る生活を一緒に作っていく。	個別ケア目標を作成し、チェックを行う。2か月に1度見直しを行う。	12ヶ月
4	33	医療に対する連携支援体制の見直し、ホームでの看取り含めた支援を見直す。	何かご利用者様の医療面での支援が必要な時、管理者だけでなく、看護師、ケアマネージャーを含めて支援を幅広く行えるようにする、	管理者、看護師、ケアマネでの連携の確認、ドクターとの連携方法を改めて確認していく。	6ヶ月
5	35	水害・地震における被害が大きくなる可能性がある地域である。避難訓練の強化を行う。	各種災害時におけるホームの役割の再認識を行う。また、ホームでの避難を再確認をする。	火災の避難訓練を重視して行っているが、今後、水害、地震の避難訓練も行っていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。